

平成29年 2月 27日

助成事業実施報告書

団体名 NPO法人 子どもの村 kyoto

氏名 東山 紀子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

自立のための職業訓練事業 ～地域社会との絆を結ぶ～

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

創設時期：平成16年6月 会員数：120名

虐待・育児放棄などで傷ついた子ども達のために設立されました。被虐待児と共に活動し、子ども達が健やかに育つための支援を行っております。現在は若者を対象とした就職支援や様々な事情で自立につまずいている方々の居場所づくりに取り組んでいます。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

最近「子どもの貧困」と「引きこもり」が社会問題として浮上してきました。支援するだけでなく子供たちと、共に働き、YOUの家を居場所としていくことが必要です。地域の更生保護女性会の協力も多くあり、一緒に働き、実践しながら働く意義・働き方など身に着けていなくては何を進めていいかわからないのが子供の現状です。

将来的には少子高齢化が進み、労働人口が減少していきます。この問題に対処していくためには、ひとりでも多くの子ども達が健全に育ち、就労できるようになることが大切だと考えます。そこで、子ども達が自信を持って社会に巣立っていけるように、「食」を通じて人と人とがふれあい、地域社会との交流ができるようにすることを目的としています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

食材はフードバンクや地域の農家の方から提供していただきます。そして、西京区の更生保護女性会の方々や学生ボランティアとYOUの家の入居者・卒業者・職員により、月2回程度地域の子ども達も交えて「料理教室」を実施します。

大人が調理したものを子ども達に提供するというやり方ではなく、子ども達も調理に参加し、調理の仕方を学びます。その中で学生たちは子ども達への関わり方や指導の仕方を学びます。大人たちは心理など専門家も多数いますので、いろいろの相談をするコミュニケーションを活用し、楽しく元気に生きていける環境づくりをしていきます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

平成28年3月～11月までの間に16回実施。参加者はスタッフも含めて15名程度。

成果としては、料理をしたことが無い子どもが経験を通して「できた」という喜びをあげました。また、学生ボランティア達は料理教室のメニューの考案やレシピ作成だけでなく、広報活動としてチラシの作成や配布、近隣住民への声掛けなども行い、自分達の手で参加者を集めることができるようになりました。そして、YOUの家の卒業生は、この企画に参加することにより、自ら進んで人の輪の中に入れるになり、後片付けも進んで手伝うようになりました。そして、人との関わり方を学び、自信をつけて就職していきました。

効果としては、「YOUの家」が着実に地域住民の集える場所になってきたことです。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今後も、自立につまずいて引きこもっている若者たちが、安心して出てくることができるような居場所づくりを進めていきたいです。各自がもともと持ち合わせている力に気づき、その力を活かして社会活動に参加していけるような支援ができたと思います。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし